



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468

市議会議員
鈴木やす子
42-2462

地域、保護者、次世代の意見を十分に聞いて

小・中学校の再編計画に関する意見交換会

市内の小中学校の再編計画に関する意見交換会（5ヶ所）が始まっています。地域の区長やPTA役員、教職員などが対象で、教育委員、市議はオブザーバーとして参加できます。これまでに磯原、中郷、華川の3ヶ所で開かれました。

市の小中学校の再編計画に関する意見交換会（5ヶ所）が始まっています。地域の区長やPTA役員、教職員などが対象で、教育委員、市議はオブザーバーとして参加できます。これまでに磯原、中郷、華川の3ヶ所で開かれました。

「地域や保護者、次世代の意見を十分に聞いて」

さきに市の検討委員会が出した中間報告への質疑応答とともに、真剣な意見交換がなされています。少子化の進行で致し方ないという意見があり、具体的に

「地域や保護者、次世代の意見を十分に聞いて」



第3回「北茨城のひな祭り」から（2月10～13日）
【そぞろねっと <http://sozoro.seesaa.net/>】

「地域や保護者、次世代の意見を十分に聞いて」

護者、次の親世代の意見を聞くという点ではまだまだ十分とはいえない。小学校単位で集まりをもったばかりに職員が出向いて意見を聞くなど、計画決定までにもっと細かい対応が必要ではないか」と指摘しました。

すでに策定された第4次基本構想では、10年後の人口を5万2千人と見通しています。これとの整合性はもちろん、どういった北茨城市をつくるのかという位置



意見交換会（華川公民館、2月17日）

日本共産党
市議団

市内の高校を訪問、懇談 北高卒業予定者の就職内定は42%

日本共産党市議団は、2月15日に北茨城高校、磯原高校の両校を訪問して、深刻化している高校生の就職内定状況などの実情をうかがいました。

決まっています。党市議団は「先の12月市議会でも、当校をはじめとする高校生の就職内定の状況が厳しくなっていることを指摘して、政治の責任としても、解決に力をつくすべきである」と質問したことを紹介しました。

北茨城高校は今春の卒業生をもって44年の歴史に幕を下ろします。最後の卒業生は53名の見込みです。就職希望者は40数名で、内定している生徒は42%。まだ半数以上の生徒が就職先が

その結果、市として今春から未就職卒業生に配慮して雇用創出事業（50人）を実施することになったこと

- 市民公開医学講座
 - ◆「婦人病の早期発見と治療について」
～県内産婦人科診療の現状～
市立総合病院産婦人科 井上久美子医師
2月22日（月）午後3時
北茨城市役所4階 会議室
 - ◆「胸の痛み、圧迫感。もしかして狭心症」
～ハートセンターの話～
市立総合病院循環器内科 片山直之医師
2月24日（水）午後1時
大津町公民館2階
- 「北茨城9条の会」2周年のつどい
戦争体験を聞く～中郷町・平山勝明さん
DVD「空襲から平和を考える」上映
2月28日（日）1時半
市防災センター
- 北茨城シネマクラブ例会
「ディア・ドクター」上映
3月7日（日）午前10時 以降3回
市民ふれあいセンター

みばさんお誘いあわせて

を説明し、「同事業を積極的に活用してほしい」と話しました。これに対して学校側は「大変うれしく思っており、ぜひ利用していきたい」とこたえました。

また、今春で閉校する話にも及び「記念アルバムもすでに完成して、そちらの準備は整っているが、職員は最後まで生徒の就職決定のためにがんばりたい」と力を込められました。

磯原高校は今春の卒業生は155名の見込みで、進学と就職がほぼ半数ずつです。就職内定率は約80%で、主に製造業で正社員とのこと。

同校が他校に比べて内定率が高いのは「生徒の地元での就職志向が高まっている